

第12回

うらやす ドキュメンタリー 映画祭

2026.6.20(土) - 6.21(日)

浦安市文化会館小ホール

6.20(土)

(浦安特別企画)「現像される街、お店」作品上映
住宅街の小料理屋～萌寿の女将江森さん～/白いエプロン
ハッピー☆エンド
村で生きる
黒川の女たち
医の倫理と戦争

6.21(日)

人間の記録～分裂病に抗して
揺さぶられる正義
よみがえる声
非常戒厳前夜

後援：浦安市

主催：浦安ドキュメンタリーオフィス

<https://urayasu-doc.com>

浦安から持続可能な社会を考える。

6.20[土] 9:50 開場

<浦安特別企画>「現像される街、お店」作品上映

東京藝術大学 Diversity on the Arts Project 「ドキュメンタリー映像演習」の受講生と藝大生が浦安に生きる人々を題材に制作した短編映画2本を特別上映します。

10:10

白いエプロン (21分)

埋立てできたばかりの住宅地「高洲地区」で一人の主婦がはじめた宅配弁当「白いエプロン」。地域に家庭の味を届けたいと早朝から手間をかけたお弁当づくりをする。



住宅街の小料理屋-萌寿の女将江森さん-(16分)

浦安の静かな住宅街に佇む「萌寿」。女将の江森さんが全国で集めた美酒の数々や、酒に合う料理が並ぶ。

★関係者によるトークイベント <予定>

11:20

ハッピー☆エンド

監督: オオタヴィン / 日本 / 2025年 / 85分

過酷な延命治療ではなく、自宅で心と身体の苦痛をやわらげ自分らしい日常生活を選択する「在宅緩和ケア」。専門医の萬田緑平医師の指導のもと在宅緩和ケアで痛みを抑えて自分らしく生きる患者たちに密着し、人生のハッピーエンドとは何かを見つめる。監督は『夢みる小学校』のオオタヴィン。



©まほろばスタジオ

★オオタヴィン監督リモートトーク <予定>

13:45

村で生きる

監督: 小林瞬、中村朱里 / 日本 / 2024年 / 102分

熊本県阿蘇郡山形村。信号機もコンビニもない小さな村に「あか牛の神様」と呼ばれる牛銅がいる。霜降り肉が評価される時代に逆行しながら、牛と人と草原がつながる循環を守り続けてきた。しかしあか牛は減り、過疎は進み、「がまだしもん」の妻も失った。それでも村で生きる—ある初夏の記録。劇場未公開作品。



©KOBAYASHI&NAKAMURA 『村で生きる』

- 第40回農業ジャーナリスト賞
- 東京ドキュメンタリー映画祭2025長編部門コンペティション準グランプリ

★小林瞬監督 <予定>

16:10



第12回浦安ドキュメンタリー映画大賞

黒川の女たち

監督: 松原文枝 / 日本 / 2025年 / 99分

岐阜県白川町黒川から満洲に渡った黒川開拓団。敗戦直後ソ連軍に助けを求め、代償として女性15人を差し出した…沈黙を強いる周囲にあらがひ、この事実を明らかにした女性たち。そして女性たちの思いを受け止めて支えた遺族会や家族、地域の人々の姿を描く。監督は『ハマのドン』の松原文枝。



©テレビ朝日

上映後、映画大賞授賞式を開催予定

-2025第67回日本映画ペンクラブ賞ベスト文化映画
-2025Filmmarks Awards 国内映画 ミニシアター部門優秀賞

★松原文枝監督 <予定>

18:40

ラスト1本対象

医の倫理と戦争

監督: 山本草介 / 日本 / 2025年 / 77分

731部隊が残した負の遺産と、現代の医療現場が抱える問題を追ったドキュメンタリー。第2次大戦中、医療関係者が戦争犯罪に加担し、隠ぺいした事実と負の遺産を抱えながらも医療倫理を掲げ、戦争反対と平和を訴える医療関係者の姿を映しだしていく。



©2025 SIGLO

(20:25 終了予定)

★山本草介監督 <予定>

会場 Venue

浦安市文化会館 小ホール (猫美1丁目1-2/浦安市役所隣)

*浦安市文化会館専用駐車場はございません
ご来館の際は、公共交通機関をご利用下さい
*会場への行き方の詳細はこちらよりご確認ください



- ・東京メトロ東西線「浦安駅」より 徒歩約25分または、バス約10分
- ・JR 京葉線・武蔵野線「新浦安駅」より 徒歩約20分または、バス約10分

6.21[日] 9:50 開場

10:10

人間の記録 ~分裂病に抗して



製作: 岩波映画製作所 / 日本 / 1964年 / 41分

茨城・友部病院を舞台に、精神分裂病(現: 統合失調症)の患者の真実の姿と、薬物療法やレクリエーションを通じた回復の過程を描く。精神疾患への偏見が強かった時代に患者を「人間」として捉え直そうとした重要な記録。製作当時の60年前には一般公開されなかった。16mmフィルムでの特別上映。劇場未公開作品。

★伊藤順一郎さん(精神科医) <予定>
丹羽大輔さん(地域精神保健福祉機構) <予定>

11:50

揺さぶられる正義

監督: 上田大輔 / 日本 / 2025年 / 129分



©2025 カンテレ

関テレ「検証・揺さぶられっ子症候群」シリーズをもとに、新たな取材と視点を加えた。事件の加害者とされた人物や家族と対話を重ね、報道側の暴力性や司法とメディアのあり方を問う。監督は企業内弁護士として入社の際に報道記者に転身、8年間にわたり事件を追った上田大輔。

★上田大輔監督 <予定>

14:50

よみがえる声

監督: 朴壽南・朴麻衣 / 日本・韓国(合作) / 2025年 / 148分



©2025 朴壽南

約40年前から在日朝鮮人2世である映画作家・朴壽南(パク・スナム)が撮り続けていた16mmフィルムを基に制作。広島や長崎で原爆被害を受けた朝鮮人、長崎の軍艦島に連行された徴用工…そして日本軍の「慰安婦」にされた女性たちの声なき物語を描き出す。共同監督に娘の朴麻衣(パク・マイ)。

-2025年第80回毎日映画コンクールドキュメンタリー映画賞
-2025年第99回キネマ旬報ベスト・テン文化映画部門第1位

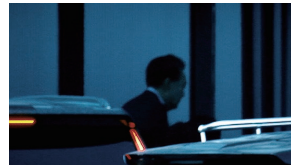
★朴麻衣監督 <予定>

18:00

ラスト1本対象

非常戒厳前夜

監督: キム・ヨンジン / 韓国 / 2025年 / 111分



©KCJ-Newstapa

2024年12月、ユン・ソンニョル大統領による突然の「非常戒厳」宣布から始まった韓国社会の混乱と、その裏側で進行していた国家権力による言論弾圧、そしてそれに立ち向かったジャーナリストたちの闘いを描く。製作は『共犯者たち』の韓国の非営利独立メディア「ニュース打破(タバ)」。

★岡本有佳さん(記者・編集者・本作協力) <予定>

(20:20 終了予定)

★…ゲストトークあり

*上映スケジュール、ゲストは予告なく変更する場合がございます。
*入場後、各回ごとの入替はございません。

チケット Tickets

*当日会場にてお支払いください。現金のみ。

1dayパス(日付指定。指定日に上映される全ての作品が鑑賞可) <6/20 or 6/21>

【事前予約】1,899円 *6/19(金) 20:00までに予約フォーム、電話、メールにてお申込み下さい

【当日券】一般・シニア:1,999円/大学・専門:1,500円/高校生以下:1,000円

ラスト1本パス(各日最後の上映のみ。上映の15分前より入場可) 【当日券のみ】

一般・シニア・大学・専門1,000円 / 高校生以下: 500円

*サポーター会員の方は当日料金から200円引き、未就学児無料

*1dayパスの大学・専門、高校生以下は当日券のみの取扱いとなります



事前予約フォーム

ご予約・お問合せ Reservation&Contact

浦安ドキュメンタリーオフィス
Urayasu Documentary Office

070-5454-1980

info@urayasu-doc.com

https://urayasu-doc.com

https://urayasu-doc.com/festival2026(映画祭特設サイト)

facebook.com/urayasadoc x.com/UDFF2011

当日のボランティアスタッフも募集中!

映画祭特設サイト

